

中学1年 考え方を学ぶ「デザイン思考演習」[未来創造P]

1年生では、「身近なところからデザイン(よりよく)する」という学年テーマのもと、東北芸術工科大学の柚木泰彦教授をお招きし、「デザイン思考」について学びを深めました。デザイン思考は、本校の探究学習「未来創造プロジェクト」を進める上で基盤となるイノベーション・メソッドです。ガイダンスでは、「Yes,and」の会話からアイデアを広げていく手法や「Will、Can、Need」の意識で課題を見出していくことを学びました。演習では、仲間との交流から課題を明確化するワークなどを行い、課題解決の糸口を探ることができました。第3回目の演習では、「友人のペンケースをデザインする」という内容で、友人の思いに寄り添って、自分たちでアイデアを膨らませたプロトタイプ制作を行いました。使用する人の思いに立ち、インタビューを繰り返してアイデアを考えていきました。生徒も意欲的に制作に取り組み、試行錯誤をしながら試作品を作り上げることができました。



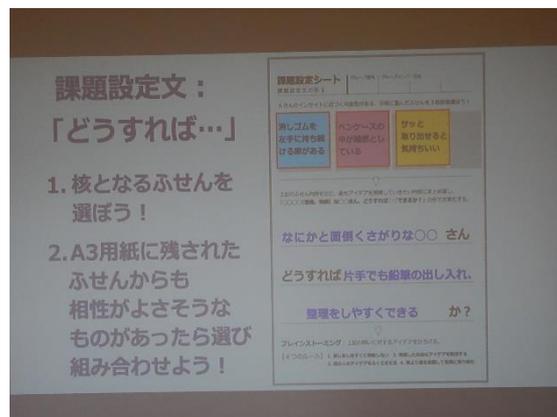
「デザイン思考」がとても面白かった。ブレインライティングなど様々なことを用いて「アイデア」を出すことは大切だと思った。

自分が皆と協力しつつ未来を創るためにはとても必要だと思った。

(第1回 デザイン思考ガイダンス 感想)

これから私達は生きていく中で、たくさんの「課題」の壁にあたると思っています。私は今回の授業を受けて、その課題の「本質」や「つながり」をそのままに、いかに自分事に行えるかを考えながら様々な課題に取り組んでいきたいと思いました。また、誰とでも活動を楽しみ、学びを深めていきたいです。客観的な意見も取り入れながらいろいろな人と協力してこれからの探究活動に臨みたいと思いました。

(第2回 デザイン思考演習 感想)



Aさんが「いいね。」と話してくれたので、とてもうれしい気持ちになりました。誰かのために作って、喜んでもらうことのうれしさを感じることができました。他者の視点に立って、その人の気持ちを引き出すことを今後の活動に生かしていきたいです。

(第3回 デザイン思考演習 感想)